



○発行日 49.9.1
○発行 岡崎市AVL
○編集 広報委員会

昭和四十九年度夏季

実技講習会盛会に終わる

本年度はVTR自作教材講習会が新たに加わ
えられ、校内放送、OIR教材製作とあわせて
三種の講習会が行なわれました。
参加者は合計三百四十名にも及び、どの会も
大変盛会で、熱心な受講風景が見られました。

校内放送研究会に参加して

細川小 関瀬

先年度に準じて七月二十六日に連尺小を会場
に、市内全小中学校の放送部員と担当教師が参
加して、暑さにもめげず熱心に受講しました。
今年度は、オマディオ、ビデオ別の四分科会
に分れて研究しあうのに、自校の放送録画や録
音テープを持ち寄ったことである。そのため、
例年になく活発な話し合いができて、時間む延
長した分科会が多かった。

全体会は瀬戸窯業高校の竹橋義明先生の講話
を聞きました。オマディオ放送の資料として、
「方言」という番組、ビデオ放送の資料として
「らくがき」という番組を例に、よくわかる指

導でした。二学期からの校内放送の指導に活か
したいと思いました。

八月五・六日の二日間

VTR自作教材講習会

今年度初めて実施されたVTR自作教材講習
会は、初級者は一日、中級者は二日間の日程で
理論と実技の講習が行なわれました。
中級者のグループの作品は「顕微鏡の使い方」
「酸とアルカリ」、「手洗い」ははずれも初め
ての作品とは思えないできばえでした。

自作の喜び

福岡小 黒野 喜美

「本番用意」、チーフデレクターの合図で、
自筆のタイトルテロップに向けてテレビカメラ
が前進する。「OIR」店各部所からスタツフの
声、秒がきざまれる。

「。。。五、四、三、二、一、零」
ナレーターが美しい声で話し出す。静かにバ
ック、グラウンド、ミニウジツクが流れる。ビー
カートの置き方からピンセットのつまみ方、リト
マス試験紙の上げおろし等を、にわか仕立ての
出演者が、神経をとぎすませて細やかに演技す
る。モニターテレビを見ながら画面がクローズ
アップされたり、図表をインサートしたりしな

がら、教材がほとんど作られていく。
「連尺小学校のスタジオをお借りして理科教材
「酸とアルカリ」を作製したこの体験は、実に
新鮮で感動的であつた。子どもたちにも「よい教
材」を作製しようとする、意欲と真剣さのあふ
る講習会であつた。

八月十三日、婦人会館で

〇五P講習会閉幕

会場は冷房完備です。午前九時から午後
四時までの、びつしりつまつた日程だったが、
何の苦痛も感じないで、楽しく受講できました。
日程もよく工夫されていて、機器操作の基本

から、TFづくりの技法までの講義を受けて、
午後製作と作品評価の時間にあてられていた。
わたしの作ったTFがグループで発表する作品
に推选されてしまい、ちよつと照れくさかつた
が、いくらかよい気分でした。

TFづくりの材料がたくさん市販されている
ことも知りましたが、値の高いのに驚きました。
しかし、カラーシートを使うとさすがに作品の
できばえもよく、映像が鮮明です。子どももわ
かりやすいにちがひありません。

作品検討のとき、他の先生方の作品を見せて
いただけたのですが、それぞれアイデアのある作
品ばかりで、すごく参考になりました。

楽しく笑い合う中にいくつもの新しい知恵
も得て、爽やかな後味のよい講習でした。(五)

教研集会（視聴覚教育部）

へのとりくみについて

本年度から組合の教文部のあ骨折りにより、
教研師範集会の分科会に、視聴覚教育部門を加
えていただけまじった。

研究主題は「視聴覚教材、教材の特性を生か
して、授業の質を高めるには、どうしたらよい
か。」です。

〇五P、VTR、TV放送、映画、スライド
A五、LL装置などを、特性を生かすという見
地から活用して、その実践記録を持ち寄りまし
よう。助言者には幸田小学校長大津準一先生が
予定されています。岡崎の視聴覚教育関係教師
の研究意欲を疑われることのないように、態度
で示しましょう。(福岡小 牧野)

ライブラリだより

夏休み中のライブラリは、休みどころが大
忙し、まさに千客万来いつも活気に満ちていま
した。

この中で特にビデオ利用の仕事でおいでにな
る方が多くありました。夏休み中に作られたも
のに次のようなものがあります。

社会科「衛生センターの働き」 AV自作委
理科「川の水の働き」 地学サークル
家庭科「縫い方の基礎」 「ミシンの使い方」
「部屋の装飾」 小学校北部主任会